



セメント系セルフレベリング材
屋内床張り物下地調整材

床用モルタルシリーズ

速硬タイプ

フラットレバー

コテやトンボで均すだけで平滑な床になります。

施工当日中に軽歩行ができます
(夏期3時間、冬期6時間)

含水率の低下が早く、早期に張り物仕上げができます。

5～30mmの厚さで幅広い範囲を施工できます。



HOUN

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	1810027
放散等級 区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.nsk-web.org/

フラットレベラー

セメント系セルフレベリング材
屋内床張り物下地調整材
速硬タイプ

施工要領

1	下地処理	下地のレイタンス、脆弱層、油分、汚れ等をワイヤーブラシやサンダー掛けなどで除去した後、水洗いをするなどして強靱な素地を出して下さい。 凹凸の著しい箇所は、モルタル等で補修をして下さい。 流出の恐れがある壁との境界部や隙間はモルタル等を用いて漏れ防止をして下さい。																
2	吸水調整材の塗布	● HGUN 床用プライマーの希釈倍率と塗布回数 <table><tr><th>下地の状況</th><th>1 回目</th><th>2 回目</th><th>塗布量 (㎡ / 缶)</th></tr><tr><td>金ゴテ押さえ</td><td>3 倍液</td><td></td><td>150 ～ 200</td></tr><tr><td>木ゴテ押さえ</td><td>6 倍液</td><td>4 倍液</td><td>100 ～ 150</td></tr><tr><td>※雨打たれ、ドライアウト下地 など吸水が大きい下地</td><td>6 倍液</td><td>4 倍液</td><td>80 ～ 100</td></tr></table> ※ 1 回塗布で施工できる金ゴテ押さえ下地は、防水下地程度の面精度を必要とします。 ※ 吸い込みが著しく激しい場合、数回塗布して下さい。	下地の状況	1 回目	2 回目	塗布量 (㎡ / 缶)	金ゴテ押さえ	3 倍液		150 ～ 200	木ゴテ押さえ	6 倍液	4 倍液	100 ～ 150	※雨打たれ、ドライアウト下地 など吸水が大きい下地	6 倍液	4 倍液	80 ～ 100
下地の状況	1 回目	2 回目	塗布量 (㎡ / 缶)															
金ゴテ押さえ	3 倍液		150 ～ 200															
木ゴテ押さえ	6 倍液	4 倍液	100 ～ 150															
※雨打たれ、ドライアウト下地 など吸水が大きい下地	6 倍液	4 倍液	80 ～ 100															
3	練 混 ぜ	「フラットレベラー」1袋(25kg)に対し、約6ℓの上水道水を高速ミキサーやハンドミキサーで攪拌しながら「フラットレベラー」を徐々に投入し約3分以上練混ぜて下さい。																
4	流し込み	レベルに合わせて部屋の隅からコテやトンボで均して下さい。																
5	養 生	施工終了後、風や直射日光等、急激な乾燥を生じるおそれがある場合はシート養生して下さい。 仕上材施工までの養生期間は夏期3日以上、冬期7日以上を目安とし、含水率が8%以下になるように硬化後、通気・換気を行って下さい。また、仕上材施工までの養生期間が1ヶ月以上になる場合はシート養生などを行って下さい。 ※白華防止一梅雨、夏期・冬期時は流し込み後、湿度・高温・低温等により白華の発生の恐れがあるのでシート掛け養生などの適切な防止策をして下さい。																

性能試験

(試験方法: JASS 15M-103)

	単位	試験結果	規格値
フロア値	cm	21.8	19以上
凝結時間	始発 時-分	2-10	45分以上
	終結 時-分	2-20	20時間以内
曲げ強度	7日 N/mm ²	5.1	—
	28日 N/mm ²	5.8	—
圧縮強度	7日 N/mm ²	21	—
	28日 N/mm ²	25	20以上
下地接着強度	N/mm ²	1.5	0.7以上
表面接着強度	N/mm ²	2.0	0.5以上
長さ変化率	%	0.10	0.12以下
耐衝撃性	—	割れおよびはがれがなし	割れおよびはがれないこと

仕様

荷姿	25kg / 袋
適用部位	屋内床
適用下地	コンクリート、PC板
適用仕上げ	長尺シート、Pタイル、カーペット、フローリング
標準調合	上水道水 約6ℓ
標準塗厚	5～30mm
標準施工面積	約1.5㎡ / 10mm厚
㎡当たりの袋数	約67袋

※塗り床仕上げの下地調整には使用しないでください。



取扱い時の安全対策(概要)

[1] 取扱い及び保管上の注意

- 目や皮膚などに触れないように適切な保護具(保護手袋、防塵マスク、保護メガネ等)を着用して取り扱って下さい。また、取扱い後は顔、手、口など水で洗浄して下さい。
- 製品は屋内の湿気の少ない場所に、床面から離して保管して下さい。

[2] 応急処置

- 目に入った場合: 直ちに清浄な水で最低15分間洗眼し、速やかに専門医の治療を受けて下さい。
- 皮膚に付着した場合: 速やかに水または温水で十分に洗い流して下さい。肌荒れがひどい場合は、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- 吸引した場合: 速やかに新鮮な空気のある場所に移動し、水または温水でうがいをして必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- 飲み込んだ場合: 水でよく口の中を洗うなどして、直ちに医師の診断を受けて下さい。
[まずは、飲み込まないように注意して下さい。]

[3] 濾出時の注意

- 飛散した粉末は掃除機で吸い取って回収するか、ホウキやスコップで集め空袋などに回収して下さい。

[4] 廃棄上の注意

- 廃棄する製品や練混ぜ材などは硬化させてから、産業廃棄物として適切な処置をして下さい。また、洗浄水などの排出は水質汚濁防止法などに注意して下さい。

[5] 輸送上の注意

- 破袋、荷崩れ、落下などの防止を確実に行って下さい。また、降雨時の湿気や水漏れに注意して下さい。



使用上の注意事項

- 本品は厳重な品質管理のもとに製造している既調合品です。指定材料以外の材料を練混ぜないで下さい。なお、練混ぜには上水道水を使用して下さい。
- 打ち継ぎは15分以内に行なって下さい。
- 強風や直射日光などによる乾燥を防止するために、シート養生などの適切な措置をして下さい。
- 本品の施工は、気温が5℃～35℃の範囲内で行って下さい。
- 製品の製造年月日を確認し、製造から3ヶ月以上経過した製品は使用しないで下さい。また、開封した製品はできるだけ早く使用して下さい。
- 硬化後にレイタンス、不陸などが発生した場合はポリッシャー等で除去して下さい。

プレミックスの開発メーカー



株式会社 豊 運



本 社 〒546-0003

大阪市東住吉区今川3丁目12番4号

TEL 06-6708-8131 FAX 06-6708-8133

URL: <http://www.ho-un.co.jp/>

東日本営業部 TEL 0247-54-3232 FAX 0247-24-1004

西日本営業部 TEL 06-6708-8131 FAX 06-6708-8133